

2020年 11月 8日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第9戦 決勝上位コメント

■ 第9戦 決勝1位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「今回のレースも、ある意味思い通りの展開となりましたね。コールドタイヤでのスタートなので気を付けながら少しずつ後続を離していきました。少しギャップを広げた状態でセーフティカーがコースインしてギャップがなくなりましたが、気合いを入れ直してリスタートを決め、優勝。この週末目標にしていた3連勝を飾ることができました。チャンピオンを決めることはできませんでしたが、次回の富士では決めることができると思います。ただしチャンピオンを獲っても気を緩めることなく全開で走り、次の富士でも3連勝、シリーズ第2戦からの11連勝を目指します」

■ 第9戦 決勝2位 小川 颯太【#77 WARMTECH SkillSpeed】



「(優勝するには) スタートで前に出るしかチャンスはないと思っていました。でも、ポールポジションからスタートした平良選手(No.35 TGR-DC RS トムススピリット F4)のスタートも良く前に出ることはできませんでした。それでついていくことになったのですが、平良選手のペースは速く、またまったくミスせずに隙を見つけることもできず、ついていくのが精一杯でした。クルマのセットとしてはこれで十分だと思うので、後は自分のドライビングを少し見直して、次回の富士では平良選手と勝負できるよう頑張ります」

■ 第9戦 決勝3位 澤 龍之介【#97 BJRacing スカラシップ JSS】



「このレースは、これまでで一番良いスタートを決めることができました。これが今日の一番の収穫で、昨日の2レースでは表彰台の一步手前までしか行くことができなかったけれど、今日のレースではやっと表彰台を獲得することができました。ただ、レース中のペースを見直してみると、前半のペースはまずまずなのですが、後半になるとペースが落ちてしまっていました。それでトップ2から大きく離されてしまいました。これが次回への課題になりましたね」

■ 第9戦 インディペンデントカップ1位 IKARI 【#98 BJRacing F110】



「このレースは随分後ろの方からのスタートでしたし、昨日はちょっと当たったりしていましたから『今日は大人しく後ろから見学させてもらおう』と、そんな殊勝な考えでスタートしました。ところが、V字コーナーでアクシデントがあって、それを上手く切り抜けたら、2位にまでポジションアップしていたんです。トップを行く齋藤選手(No.96 CS Marketing AKILAND)の直後にいて、殊勝な気持ちは忘れてバトルすることになりましたが、気持ち良いバトルができて、結果的には優勝することもできました。ただ、これがこの週末で初の完走で、ちょっとお恥ずかしい限りですね」